

年 組 名 前 :



履物がきれいにそろえられた玄関



靴整え「日本一の玄関」

双葉中

甲斐市

県内の小中学校を紹介します。各学校の先生や児童・生徒会長に学校の自慢や魅力を聞いたよ。

「カーン カーン」。毎日午前8時25分、学校中に響きわたる「至誠の鐘」の音。校訓である「至誠」を鐘の音に乗せ、静まり返った中で生徒全員が全身で受け止めます。

至誠とは「何かのため善かれかしと純粋に思う心。まごころ」のこと。生徒はもちろん、職員も黙想をして一人一人が思いを巡らせながら聴き入ります。鐘をつくのには校長先生、想いを込めて5回つくと、双葉中の一日の始まりです。

至誠の心をもった生徒たちは、何事にも前向きに取り組みます。その中でも次の二つを伝統として脈々と受け継いでいます。

一つ目は、爽やかなあいさつです。「こんにちは」「さようなら」と、いつも爽やかなあいさつを交わす姿が気持ちいいです。

二つ目は環境を整えること。「日本一の玄関に！」を合言葉に、一人一人がげた箱の靴をピシッとそろえて入れることを意識しています。その光景は何とも気持ちのよいものです。

さらに「すてきななあ」と感じることは、誰もがそれを当たり前にしていて本校の伝統になっていることです。過去に全国ネットのテレビ番組や地元テレビ番組でも取り上げていただきました。また、この4月に県外の中学校から「日本一の玄関づくりを通して学校づくりをしている双葉中を題材に授業を計画したい」という問い合わせがありました。何ともうれしい話です。「履物がそろえば心がそろう。心がそろえば履物がそろう」。その言葉通り、双葉中では日々実践しています。

コロナ禍でこれまで通りの学校生活ができません、我慢を強いられることもありますが、この困難を乗り越え、いずれ元の生活に戻れるように、今できることを頑張っていきたいと思っています。(文・市川英雄教頭)

(2021年9月16日付 山梨日日新聞 週刊こびっと4面)

問1 双葉中の校訓である「至誠」という言葉の意味は何ですか。

問2 「至誠」の心をもった生徒たちが、伝統として受け継いでいる2つのことを挙げてください。

「 」 「 」

問3 あなたの学校には校訓や目標があり、どんな活動を実践していますか。書いてください。

「校訓や目標」 → .....

「活動内容」 → .....